

# 中小企業景気動向調査結果

(平成29年1月～3月期実績と平成29年6月期の見通し)



第 12 回

発行日 2017.4.7

調査日 平成29年2月中旬

調査方法 当金庫職員による面接聴き取り調査

調査対象 当金庫取引先116社(製造業 40社、卸売業 7社、小売業 25社、サービス業 16社、建設業 21社、不動産業 7社)

有効回答率 94%

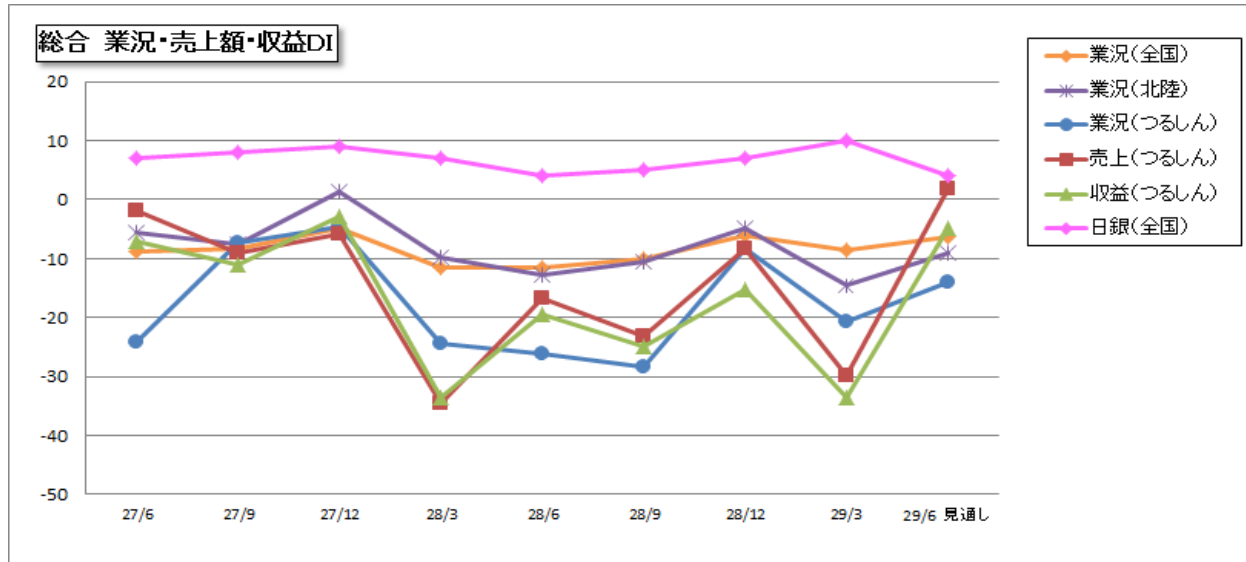
分析方法 (DI): diffusion index 「良い」とみる割合から「悪い」とみる割合を引いたもの。

「良い」(上昇) および「やや良い」(やや上昇) の割合 - 「悪い」(低下) および「やや悪い」(やや低下) の割合。

## 概況 1～3月期業況は、予想を下回るものの悪化

今期の全業種総合業況DIは、前回予想より小幅にとどまったものの▲20.6となり、12.4ポイント悪化した。また、次回見通しについては、マイナスながら▲14.0と6.6ポイント改善の見通しとなっています。

売上額DIは、前期比 21.7ポイント低下の▲29.9、収益DIは、前期比 18.3ポイント低下の▲33.6となったものの全業種総合業況DIの来期見通しは、「つるしん」、「北陸」とも小幅な改善の見通しとなっています。



※ 全国・北陸のデータは、信金中央金庫の「全国中小企業景気動向調査」を参照しています。

## 【業種別業況天気図】

業種別業況天気図	28年3月	28年6月	28年9月	前回 28年12月	今回 29年3月	次回見通し 29年6月
総合	-24	-26	-28	-8	-20	-14
製造業	-33	-34	-28	-12	-5	-8
卸売業	-83	-50	-83	-16	-33	-17
小売業	-26	-46	-24	-45	-61	-30
サービス業	-13	-14	-36	15	-20	-27
建設業	0	15	-5	15	0	5
不動産業	-14	-43	-43	14	-17	-17

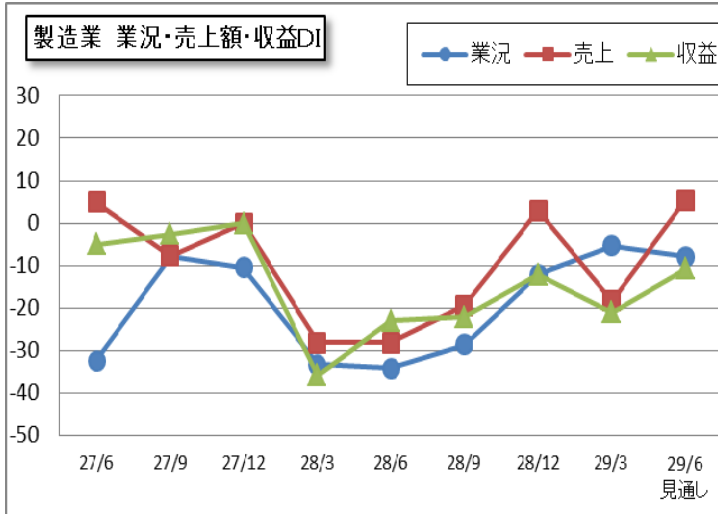
好調 ← (業況DI目安) 100 ← 40 ← 25 ← 0 → △25 → △40 → 低調 △100

# 業種別の特徴(業況DI)

## 製造業

今回調査業況DIは、「▲5.3」

～ 前回調査比 6.8ポイントの上昇 ～



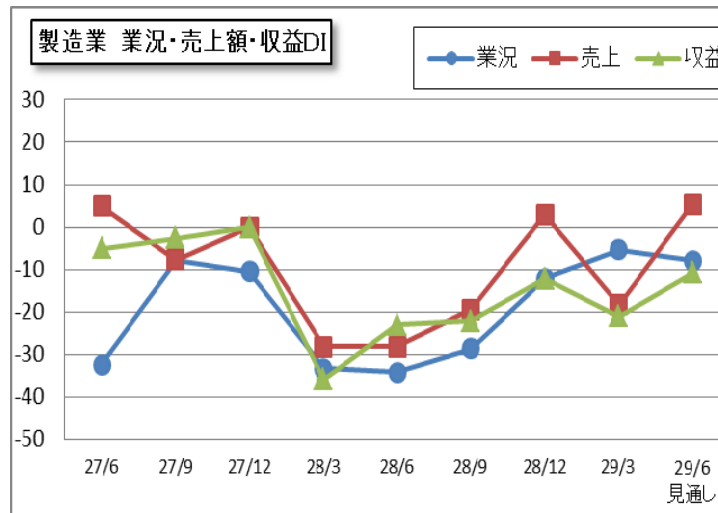
### 【製造業 主要DI】

	28年 6月	9月	前回 12月	今回 29年3月	次回 見通し 6月	方向 (前回比)
業況判断	▲34.2	▲28.6	▲12.1	▲5.3	▲7.9	↗
売上額	▲28.2	▲19.4	3.0	▲18.4	5.4	↘
収益	▲23.1	▲22.2	▲12.1	▲21.1	▲10.8	↘
販売価格	▲7.9	▲5.6	▲3.1	▲5.4	▲5.6	↘
原材料価格	5.3	8.6	0.0	8.3	2.9	↗
原材料在庫	▲5.4	0.0	▲6.5	▲5.7	▲9.1	↗
資金繰り	▲25.6	▲19.4	▲6.1	▲10.5	▲16.2	↘
人手	2.6	▲8.6	▲9.7	▲18.4	▲15.8	↘

## 卸売業

今回調査業況DIは、「▲33.3」

～ 前回調査比 16.6ポイントの低下 ～



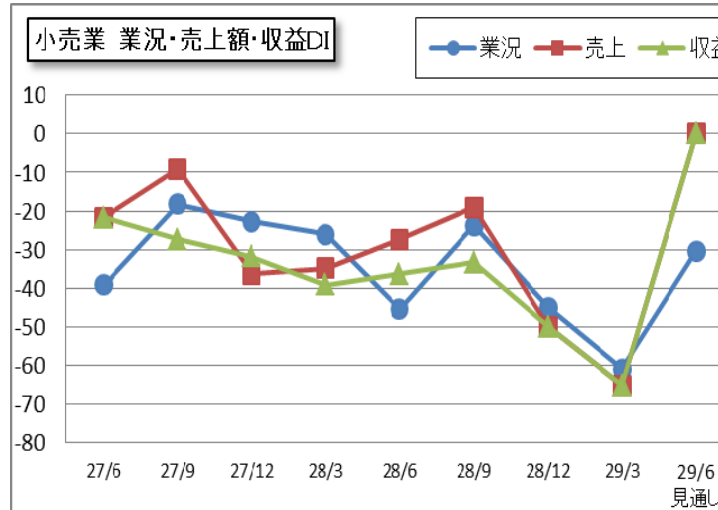
### 【卸売業 主要DI】

	28年 6月	9月	前回 12月	今回 29年3月	次回 見通し 6月	方向 (前回比)
業況判断	▲50.0	▲83.3	▲16.7	▲33.3	▲16.7	↘
売上額	▲50.0	▲83.3	▲16.7	▲50.0	▲33.3	↘
収益	▲33.3	▲83.3	0.0	▲50.0	▲33.3	↘
販売価格	▲16.7	▲16.7	▲16.7	▲33.3	▲16.7	↘
仕入価格	50.0	▲16.7	16.7	0.0	0.0	↘
在庫	▲16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	↗
資金繰り	16.7	▲33.3	▲16.7	▲16.7	0.0	→
人手	33.3	▲16.7	▲16.7	▲16.7	▲16.7	→

## 小売業

今回調査業況DIは、「▲60.9」

～ 前回調査比 15.9ポイントの低下～

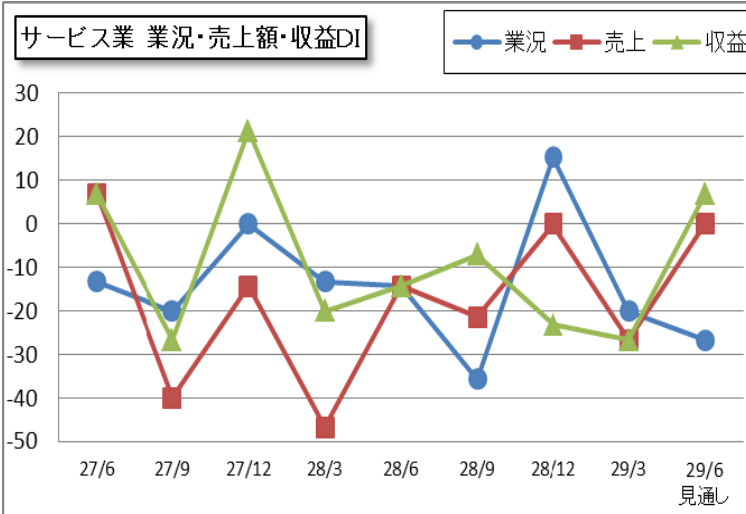


### 【小売業 主要DI】

	28年 6月	9月	前回 12月	今回 29年3月	次回 見通し 6月	方向 (前回比)
業況判断	▲45.5	▲23.8	▲45.0	▲60.9	▲30.4	↘
売上額	▲27.3	▲19.0	▲50.0	▲65.2	0.0	↘
収益	▲36.4	▲33.3	▲50.0	▲65.2	0.0	↘
販売価格	0.0	▲4.8	▲20.0	▲21.7	▲9.1	↘
仕入価格	22.7	16.0	15.0	▲4.3	18.2	↘
在庫	▲4.5	0.0	0.0	0.0	4.5	→
資金繰り	▲22.7	▲28.6	▲25.0	▲30.4	▲13.6	↘
人手	▲21.1	▲10.0	▲22.2	▲14.3	▲23.8	↗

サービス業

今回調査業況DIは、「▲20.0」 ～ 前回調査比 35.4ポイントの低下 ～

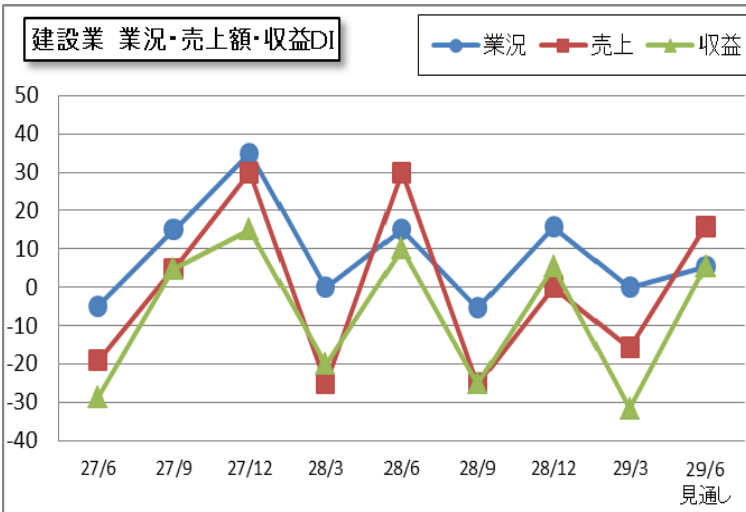


【サービス業 主要DI】

	28年 6月	9月	前回 12月	今回 29年3月	次回 見通し 6月	方向 (前回比)
業況判断	▲14.3	▲35.7	15.4	▲20.0	▲26.7	↘
売上額	▲14.3	▲21.4	0.0	▲26.7	0.0	↘
収益	▲14.3	▲7.1	▲23.1	▲26.7	6.7	↘
料金価格	14.3	▲14.3	▲7.7	13.3	0.0	↗
材料価格	28.6	▲7.1	7.7	13.3	13.3	↗
資金繰り	▲21.4	0.0	▲15.4	▲6.7	▲13.3	↗
人手	▲28.6	▲21.4	▲23.1	▲20.0	▲26.7	↗

建設業

今回調査業況DIは、「▲0.0」 ～ 前回調査比 15.8ポイントの低下 ～

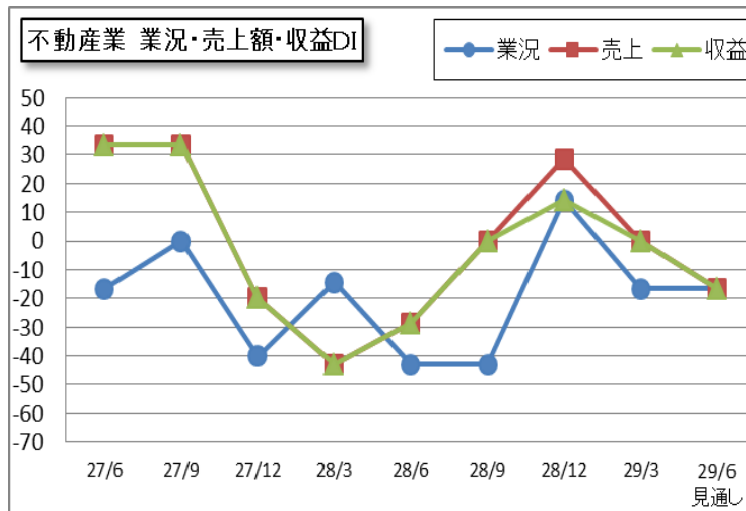


【建設業 主要DI】

	28年 6月	9月	前回 12月	今回 29年3月	次回 見通し 6月	方向 (前回比)
業況判断	15.0	▲5.3	15.8	0.0	5.3	↘
売上額	30.0	▲25.0	0.0	▲15.8	15.8	↘
収益	10.0	▲25.0	5.3	▲31.6	5.3	↘
請負価格	0.0	▲20.0	0.0	5.3	▲10.5	↗
材料価格	5.0	10.0	31.6	10.5	10.5	↘
在庫	10.5	5.3	5.6	5.6	5.6	→
資金繰り	0.0	▲10.0	5.3	▲15.8	▲15.8	↘
人手	0.0	▲5.0	▲15.8	▲21.1	▲15.8	↘

不動産業

今回調査業況DIは、「▲16.7」 ～ 前回調査比 31.0ポイントの低下 ～

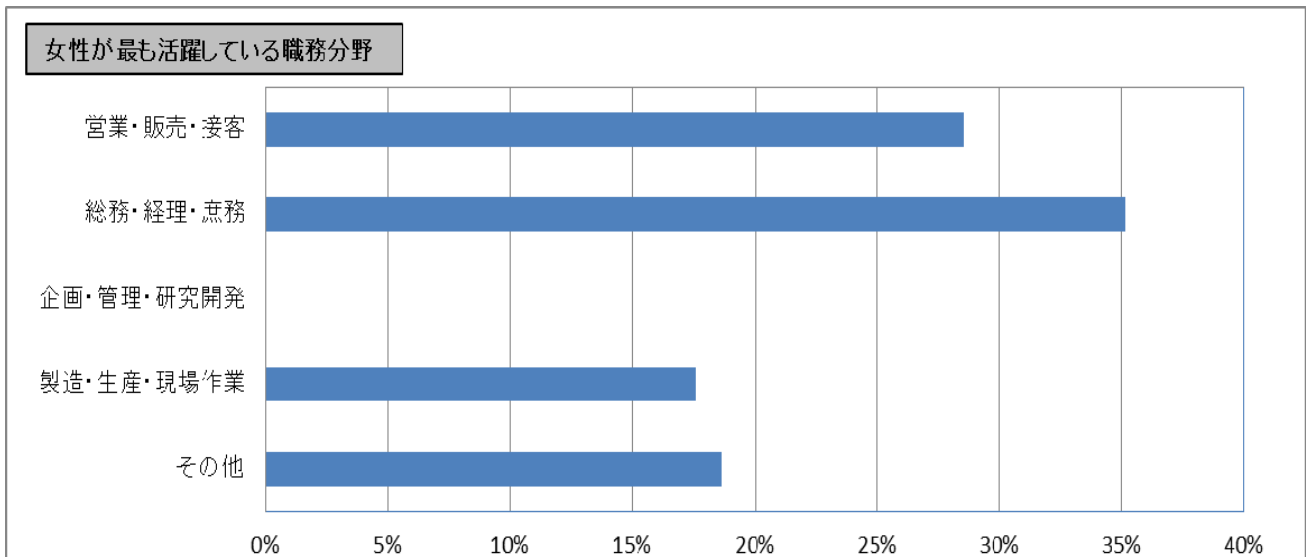
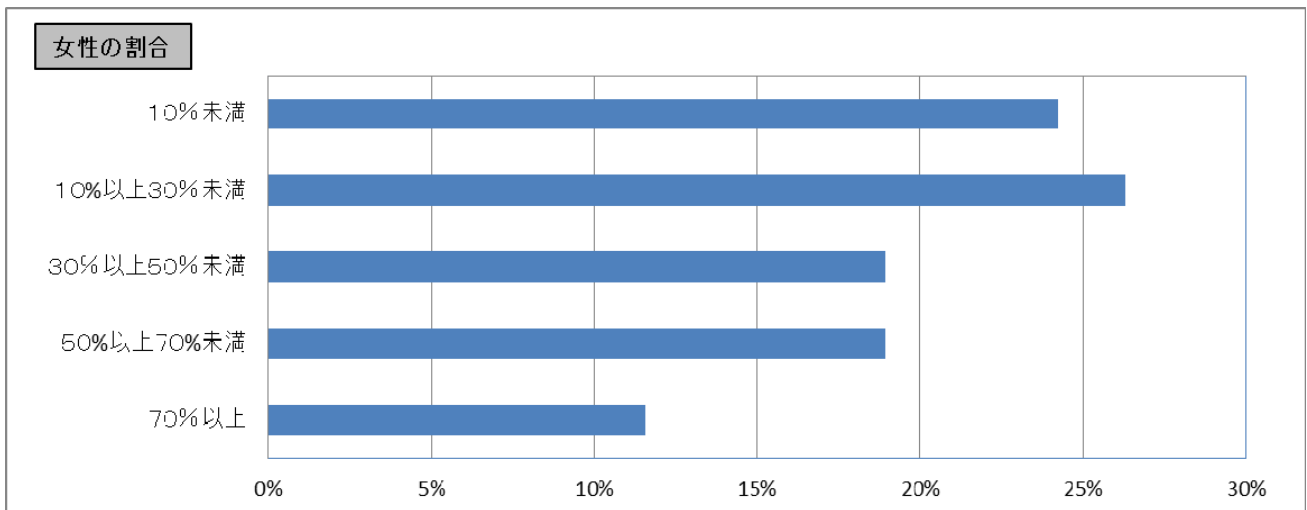


【不動産業 主要DI】

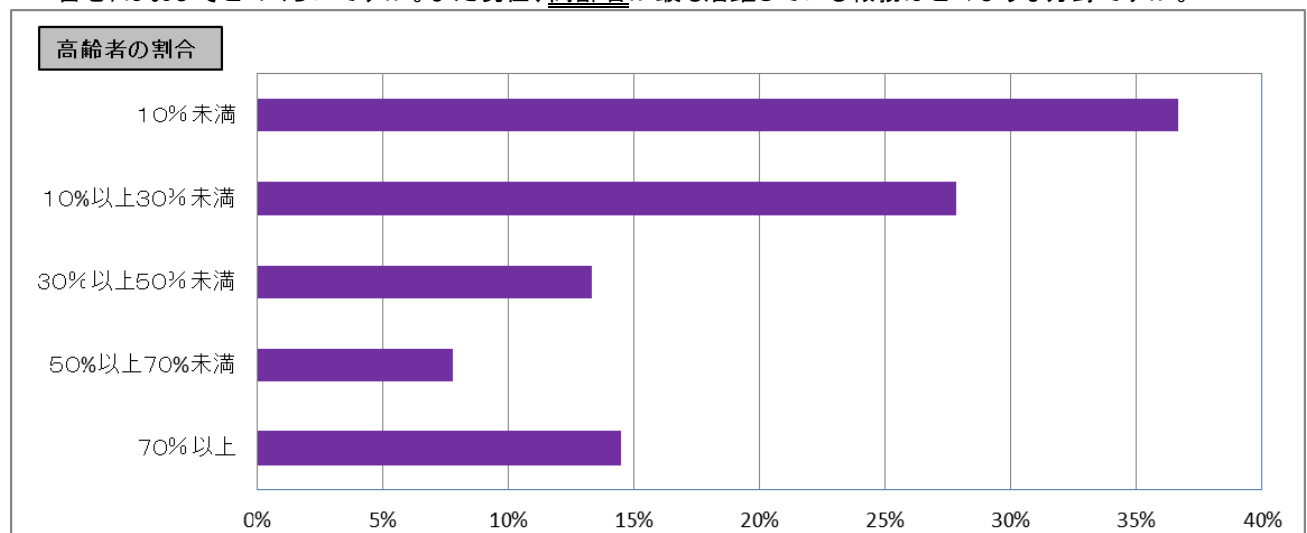
	28年 6月	9月	前回 12月	今回 29年3月	次回 見通し 6月	方向 (前回比)
業況判断	▲42.9	▲42.9	14.3	▲16.7	▲16.7	↘
売上額	▲28.6	0.0	28.6	0.0	▲16.7	↘
収益	▲28.6	0.0	14.3	0.0	▲16.7	↘
販売価格	▲14.3	▲14.3	14.3	0.0	▲16.7	↘
仕入価格	▲14.3	▲28.6	0.0	0.0	0.0	→
在庫	▲28.6	▲28.6	▲14.3	▲16.7	▲16.7	↘
資金繰り	▲28.6	▲28.6	▲14.3	▲16.7	▲16.7	↘
人手	▲14.3	0.0	▲16.7	▲33.3	▲16.7	↘

## 特別調査【人手不足下における中小企業の人材活用策について】

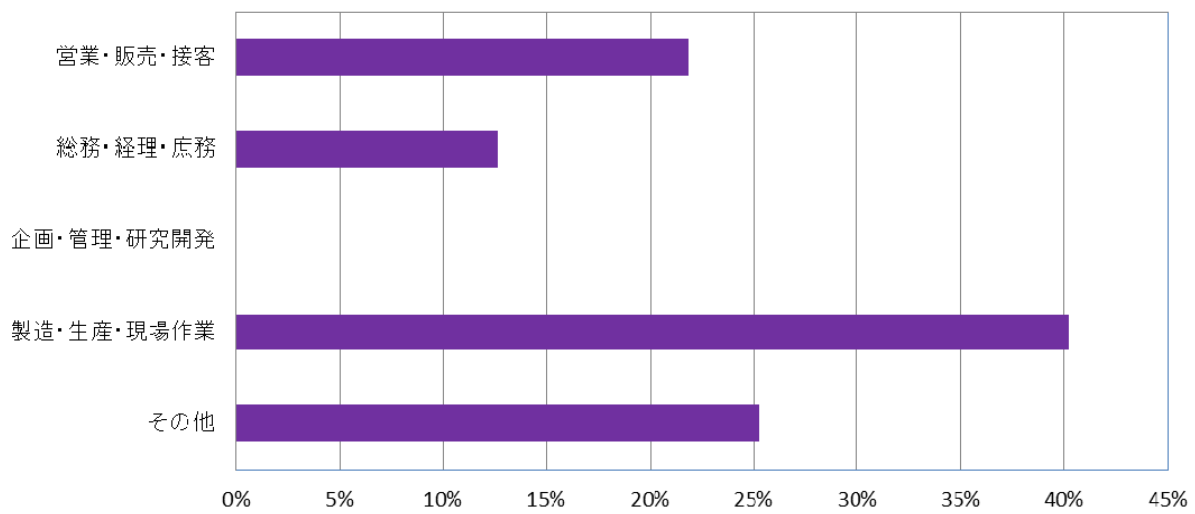
問1. 少子高齢化社会の進展にともない、企業経営上の課題の一つとして人手不足がクローズアップされています。こうしたなか、女性の活躍推進が期待されていますが、貴社の従業員数に占める女性の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、女性が最も活躍している職務はどのような分野ですか。



問2. 高齢者（ここでは60歳以上を想定）の活躍推進について、貴社の従業員数に占める高齢者の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、高齢者が最も活躍している職務はどのような分野ですか。

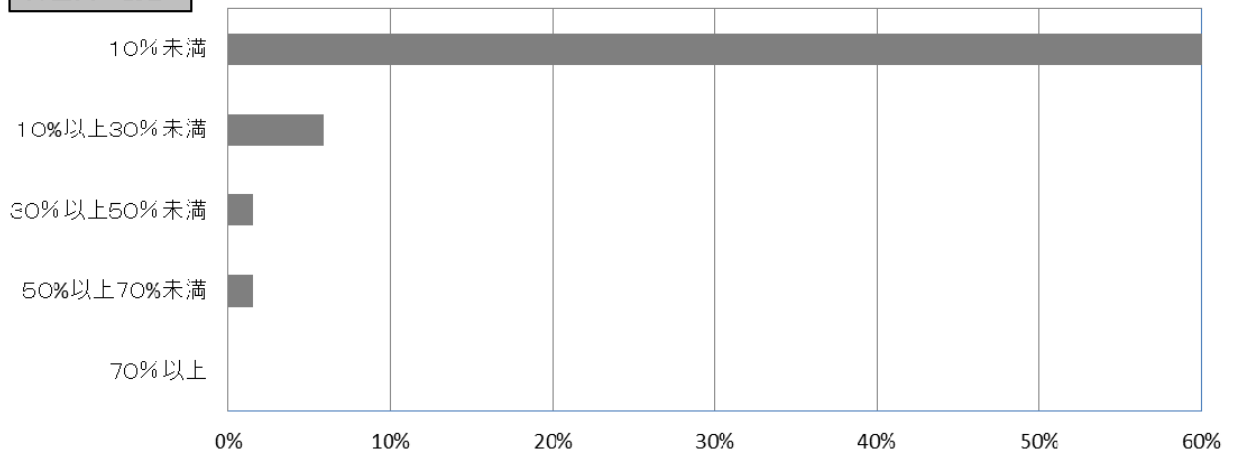


高齢者が最も活躍している職務分野

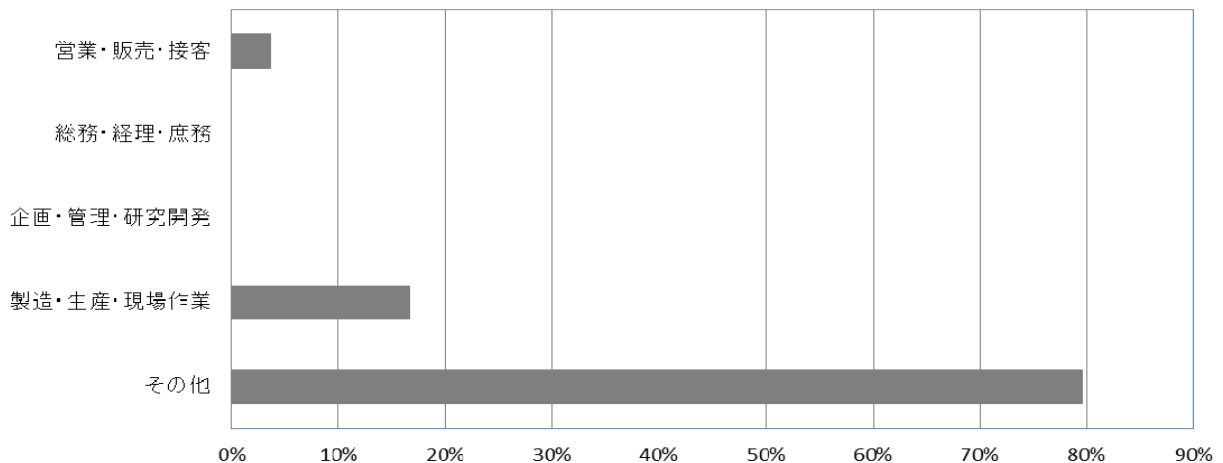


問3. 外国人の活躍推進について、貴社の従業員数に占める外国人の割合(非正規含む)はおよそどのくらいですか。  
また現在、外国人が最も活躍している職務はどのような分野ですか。

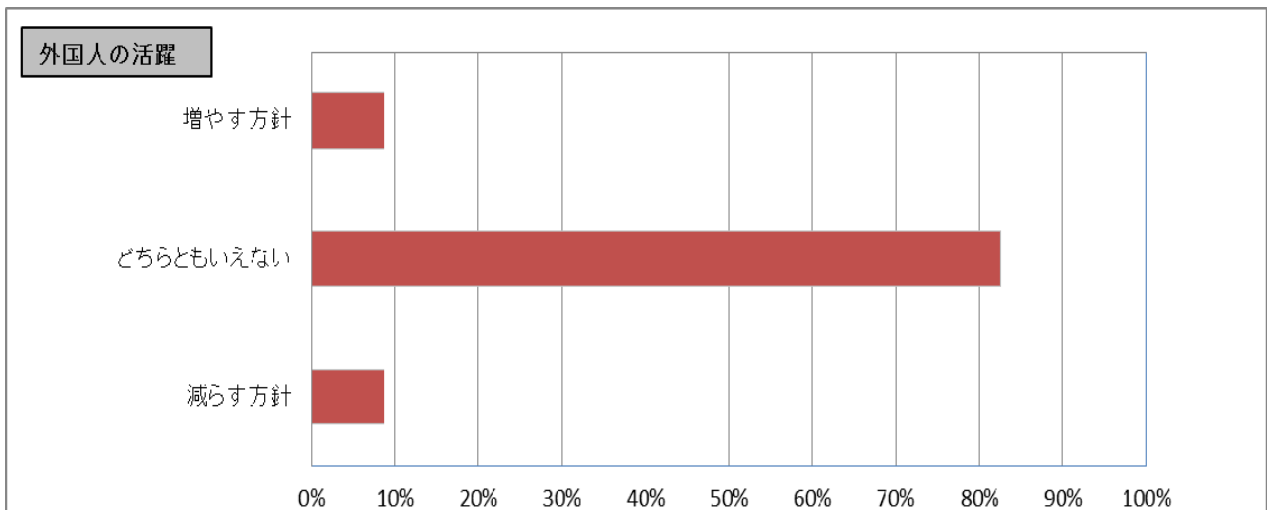
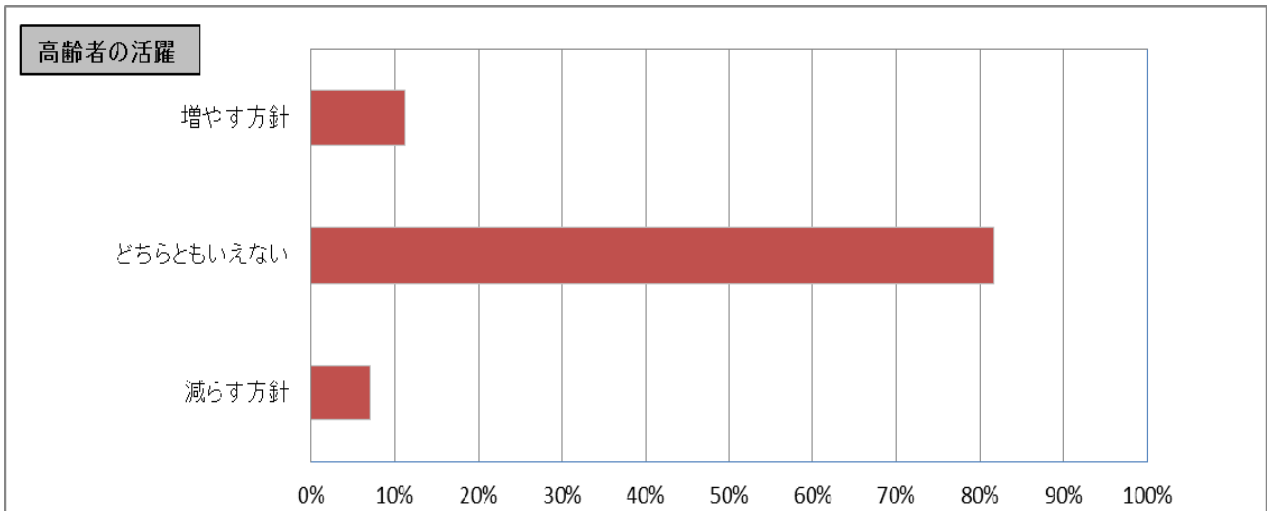
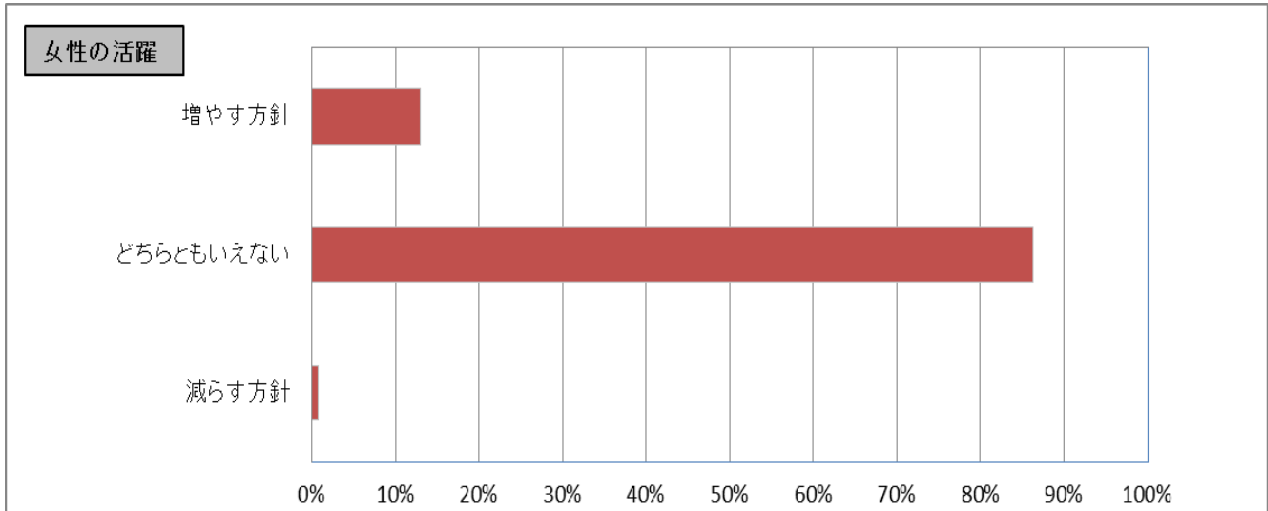
外国人の割合



外国人が最も活躍している職務分野



問4. 女性、高齢者、外国人の活躍推進それぞれについて、貴社では、今後、どのようにお考えですか。



問5. 政府は、「働き方改革実現会議」において、以下の9項目を課題として検討しています。

これら9項目のうち、貴社が注力しようと考えているものをお答えください。

